雲ながるる果てに（1953）

メディア 映画
ジャンル ドラマ　戦争　青春
製作国　日本
色彩　B&W
初公開日 1953/06/09
公開情報 松竹

【解説】
　白鴎遺族会による『雲ながるる果てに一戦没飛行予備学生の手記』をもとに、「悲しき口笛」の家城巳代治が、神風特別攻撃隊の悲劇を描いた反戦ドラマ。芥川也寸志が音楽を担当した。
　昭和二十年、九州の特攻隊基地が米軍機により襲撃を受けた。この攻撃により、出撃を待っていた学徒兵の秋田は死亡、深見は負傷してしまう。夫の死を知らずに基地を訪れた秋田の妻は、位牌を見て泣き崩れた。大滝と深見は出撃命令を待つが、連日の雨でなかなか命令が下りてこない。やがて雨が上がり、松井が出撃することになった。松井は深見に「戦争のない国で待っている」と告げて飛び立っていった。やがて大滝の両親から基地を訪ねるという知らせが来るのだが、そのとき大滝と深見に出撃命令が下る。

【クレジット】
監督　家城巳代治
製作　重宗和伸
　　伊藤武郎
　　若山一夫
脚本　家城巳代治
　　八木保太郎
　　直居欽哉
撮影　中尾駿一郎　Shunichiro Nakao
　　高山弥
音楽　芥川也寸志
出演　鶴田浩二
　　木村功
　　高原駿雄
　　沼田曜一
　　金子信雄
　　岡田英次　Eiji Okada
　　山田五十鈴

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.